

都市内共同体をつくる

関一大阪市長時代の公園群とコーポラティブ住宅群「都住創」シリーズを通して

春のフォーラム 2021 では、1920 ～ 30 年代の関一市長時代に造園家・椎原兵市（1884 ～ 1966 年）が設計を手がけた大阪市の公園・空地群と 1970 ～ 2000 年代に建設されたコーポラティブ住宅群「都住創」を通して、これからの都市に住む作法としての「コモン」の実践について考えます。

題材とする公園・空地群と住宅群はいずれも上町台地とその近辺に位置しますが、これまでの経緯を振り返りながら、居住者・利用者が守り・育て、心地よく暮らすことのできるまち・集合住宅を実現するきっかけにつなげたいと思います。



椎原兵市が設計を手がけた公園・空地群（中央）と都住創シリーズ全 20 住宅（外周） 田籠哲也撮影

日 時：2021 年 6 月 12 日（土）

15：00 ～ 17：00 参加費：無料

Zoom によるオンライン開催とし、14:00 から西山文庫総会を開催します。参加希望の方は西山文庫のホームページ（<http://www.n-bunko.org/>）のニュースのページから登録してください。その他の問合せは、NPO 法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫（npo@n-bunko.org）までお願いいたします。

講師 荒木 公樹（あらき まさき）

空間計画株式会社 代表取締役

1971 年大阪市生まれ。一級建築士。1995 年神戸大学工学部建築学科卒業。吉村篤一＋建築環境研究所を経て 2003 年空間計画を設立、現在に至る。持続可能な住環境の実現のための設計・研究活動に取り組む。建築設計に「実験集合住宅 NEXT21 住み継ぎの家」「西宮大森町の家」「西岡本の家」「帝塚山の家・カーサリベラ」等。受賞に都市住宅学会賞著作賞等。



主 催：NPO 法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫

協 賛：積水ハウス株式会社、積水ハウス梅田オペレーション株式会社

後 援：（公社）日本建築家協会近畿支部、（公社）大阪府建築士会、（一社）日本建築協会、（一社）日本建築学会、（公社）都市住宅学会関西支部、（公社）日本都市計画学会、NPO 日本都市計画家協会